プランについて

■プラン名：　探究学習を通じたAI活用人材の育成 ～AIチャレンジ～

■企業名：　ソフトバンク株式会社

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1．情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2．デジタル環境の整備と教育内容の充実

3．理数系科目の充実

4．情報・理数系学科コースの充実

5．文理横断的な新しい普通科の設置

探究学習を通じたAI活用人材の育成 ～AIチャレンジ～

●概要

情報Ⅰ　（1）情報社会の問題解決 （2）コミュニケーションと情報デザイン	情報Ⅱ　（1）情報社会の進展と情報技術 （2）コミュニケーションとコンテンツ （3）情報とデータサイエンス （4）情報システムとプログラミング （5）情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究
総合的な探究の時間	
部活動	

生成AI・識別系AI等を活用し、
企業のAI実務者と共に挑む課題解決型学習プログラム

AI Challenge
探究学習でAI活用人材を育成する

	生徒向け教材・講座	教員向け研修・講座
対象	情報Ⅰ・Ⅱの単元学習 （情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究等）、 総合的な探究の時間での課題研究、 部活動での取り組みとして活用	校内研修や自己研鑽の一環として、 校務DXや探究学習指導の準備として活用
期待される効果	■外部専門人材との連携による実践的な課題解決 ソフトバンク社員による企画講評を通じ、社会実装を見据えた実践的な課題解決力を育成します。 ■情報Ⅱ・探究学習におけるAI活用・システム実装 AIを用いた情報システムの構築・実装プロセスを通じ、情報Ⅱ等で求められるデジタル人材の資質・能力を習得します。 ■全情コン等のコンテスト挑戦と実績作り 課題研究の成果物を活用し、全情コン等の外部大会へ挑戦。対外的な評価を得る機会を創出します。	■ガイドラインに準拠した指導力の習得 文部科学省の生成AI利活用ガイドラインを深く理解し、生成AIのリスクと可能性を踏まえた適切な指導やファクトチェックの方法を習得します。 ■校務・学習活動の効率化と高度化 ソフトバンクの生成AI活用事例を参考に、校務や学習活動の業務効率化と教育の質の向上を実現します。

※ 予告なく変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

探究学習を通じたAI活用人材の育成 ～AIチャレンジ～

●ポイント

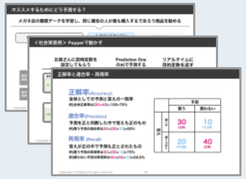
環境構築不要・即実践可能な
オールインワン教材

授業準備の負担を大幅軽減

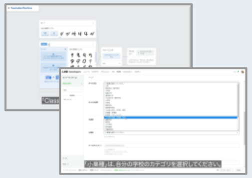
「授業用スライド」「学習指導案」「解説動画」など、授業に必要な一式を完備

**ハイスペックPC不要
インストール不要**

ブラウザベースのツール（Teachable Machine等）を採用
既存のPC端末ですぐに高度なAI開発体験が可能



授業用スライド
（オンライン）



解説動画
（オンライン）

教材導入ガイド
学習指導案
（指導者IDのみダウンロード）

ワークシート
サンプルデータセット
（ダウンロード）

第一線の専門家監修・協力による
信頼性の高いプログラム

「教育」と「実社会」の両立

学習指導要領や教育現場のニーズと、
実社会で求められるAIスキルの両方を満たす
質の高いカリキュラム設計

教材推薦者
京都精華大学
メディア表現学部 教授
大阪芸術大学
アートサイエンス学科 客員教授
文部科学省 初等中等教育局
視学委員
鹿野 利春 氏

監修・制作協力
印西市教育委員会
教育DX専門官
松本 博幸 氏

教材アドバイザリー
AIX partner株式会社
代表取締役
野口 竜司 氏

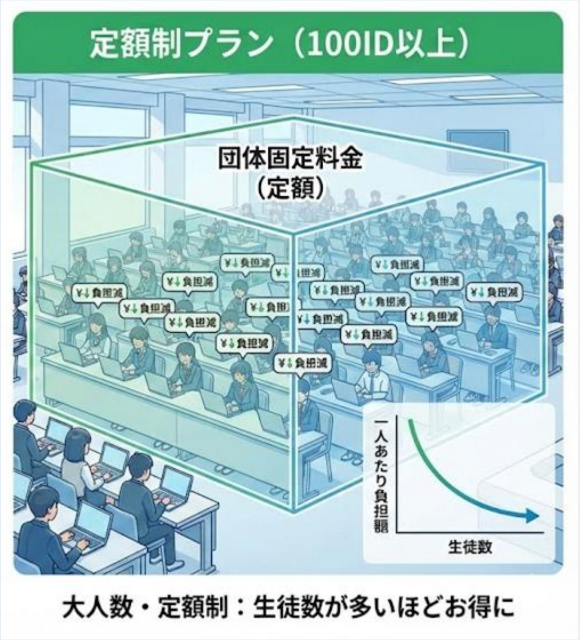
補助金終了後も安心
持続可能な費用体系

スケールメリットが出る料金設計

100 ID以上は「団体固定料金」を採用
生徒数が多いほど一人あたりの負担額が低減

受益者負担でも実施可能

一般的な副教材と同等の価格設定（¥1,500程度）
家庭負担での継続運用が可能



※100 ID未満では1人あたり1,500円の従量制あり

※ 予告なく変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

●参考価格

例①【条件】全校生徒利用（100名以上）＋予測系AIライセンス＋教員研修（30名）の場合

項目	内訳	小計（税込）
AIチャレンジ –AI活用実践コース–	識別系AI・会話系AI・予測系AI・生成AIに関する全24コマ分の教材コンテンツ（AI実務者からのAI活用企画講評含む）	297,000円
教員向け生成AIスキルアップ講座（オンライン学習）	Eラーニングシステムによる教員向け学習プログラム ※ 教員数30名まで無償提供	0円
教員向け生成AIスキルアップ講座（集合研修）	専門講師による約2時間の教員向け集合研修 ※ 実施場所が遠方の場合は別途宿泊交通費が追加	60,500円
		合計 357,500円

例②【条件】一部生徒利用（40名）＋教員研修（30名）の場合

項目	内訳	小計（税込）
AIチャレンジ –AI活用実践コース–	識別系AI・会話系AI・生成AIに関する全18コマ分の教材コンテンツ（AI実務者からのAI活用企画講評含む）	66,000円
教員向け生成AIスキルアップ講座（オンライン学習）	Eラーニングシステムによる教員向け学習プログラム ※ 教員数30名	33,000円
教員向け生成AIスキルアップ講座（集合研修）	専門講師による約2時間の教員向け集合研修 ※ 実施場所が遠方の場合は別途宿泊交通費が追加	60,500円
		合計 159,500円

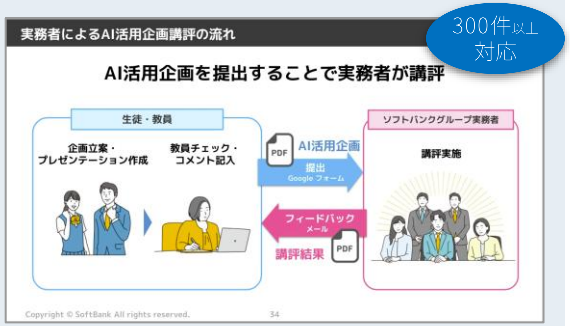
【留意事項】
- 参考価格につき、詳しくはお問い合わせください。条件に合わせ、お見積りさせていただきます。
- 予告なく変更になる場合がございます。
- 集合研修の実施場所が遠方の場合は別途宿泊交通費が追加になります。
- 研修実施時期は、学校様と講師とのスケジュール調整により決定いたします。
- 生徒向け授業・講座の講師派遣も対応可能です。別途お見積させていただきます。

●概要―AIチャレンジ（生徒対応）

- 探究学習のプロセスを通じてAIの活用方法を身につけることができます
- 学習に必要な各指導ツールが一式揃っています
- AIの基本的な知識習得からAIを利用した課題解決まで体験できます
- 生成AIを理解しAI倫理を身につけ、プロンプトの学習ができます

AI Challenge
探究学習でAI活用人材を育成する

実務者によるAI活用企画の講評

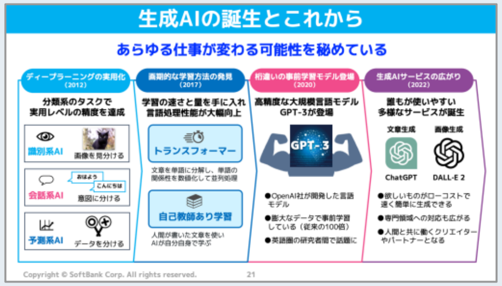


考案したAI活用企画のデータ提出をすると
ソフトバンクAI実務者が全件講評して返送

AIツールを用いた多様な実習パート

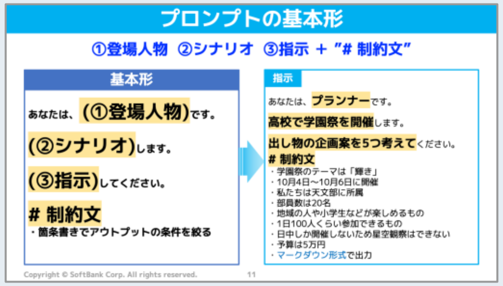
実際に課題解決に使用できる多様なAIツールを操作し、AIの仕組みを深く理解
AIツールは全てパソコンのブラウザ上で実行するため、高スペックPCやインストール作業は不要

生成AIの仕組み・リスクを理解



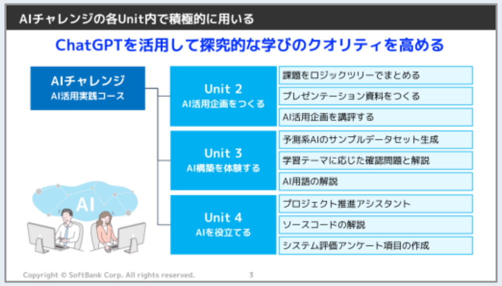
生成AIの成り立ちや仕組み、ハルシネーションによるリスクを理解する

生成AIの使い方を習得



プロンプトエンジニアリングによる
生成AI実習と、AI倫理について考える

プロンプト実践集



学んだ生成AIを探究学習での様々な場面で利活用するためのプロンプト集

※ 予告なく変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

●概要―生成AIスキルアップ講座（教員対応）

- 文部科学省の「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」をベースに、急速に進展するAI技術と教育現場での利活用について、高等学校の教員の皆様に実践的な知識とスキルを提供します。
- AIの基礎から実践的な利活用方法まで、4つのステップで体系的に学習できる構成となっています。
- 校務での業務効率化から、授業での効果的な利活用まで、教育現場に即した具体的な事例とともに学びます。

目的

生成AIの基礎知識から実践的な利活用法までを学び、生成AIを教育現場で効果的に用いて生徒の学びに生かすことを目指す

学べること

1. 文部科学省ガイドラインの理解
   - ●ガイドラインの解説と付加情報で深く理解
2. 生成AI時代に対応する能力育成
   - ●AIリテラシーの習得と生徒の情報活用能力の育成方法
3. 具体的な生成AI利活用
   - ●校務・学習活動での利活用による業務効率化と質向上

講座内容

第１章 生成AIの基礎知識
- ● AIの歴史、従来のAIと生成AI、生成AIの仕組み
- ● 代表的な生成AIツール (ChatGPT、Copilotなど)

第２章 生成AI利活用の基本的な考え方
- ● ハルシネーションと生成AIのリスク（著作権･バイアスなど）
- ● 人間中心の利活用、情報活用能力の育成、ファクトチェック

第３章 教育現場における生成AI利活用と留意点
- ● プロンプトの作成方法
- ● 校務・学習活動での利活用と留意点

第４章 生成AI利活用事例
- ● 校務での利活用事例 (文書作成、授業準備、学習評価など)
- ● 学習活動での利活用事例 (各教科での活用例、探究学習など)

受講方法

オンライン学習	自身のパソコンで好きな時間に Eラーニングで学習	集合研修	専門講師派遣による学校での集合研修 （約2時間）

※ 予告なく変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

学校の指導計画に応じてコースを選択していただけます。詳細はお問い合わせください。

		AI活用実践		AI活用実践Lite	生成AI活用
コース特色		実践的な探究活動を通じAI活用で社会課題解決を行う		短期集中型で基礎を学び実習を行う	生成AIの活用を学び実習を行う
学習内容	教材構成	Unit 1 AIを知る Unit 2 AI活用企画をつくる Unit 3 AI構築を体験する★ Unit 4 AIを役立てる★ 生成AI活用入門★		Try 1 AIを知る Try 2 AIを体験する★ Try 3 AI活用企画をつくる 生成AI活用入門★	第1部 生成AIを知る 第2部 生成AIを体験する★
	コマ数目安	10〜16コマ以上	10〜22コマ以上	3コマ以上	―
	生成AIコマ数	2コマ		2コマ	2コマ
使用するAI	識別系AI	○	○	○	―
	会話系AI	○	○	―	―
	予測系AI	―	◎	―	―
	生成AI	○	○	○	○
対象	中学生	○	○	○	○
	高校生	◎	◎	○	○
	大学生	◎	―	○	○
年間費用*（税込）	利用者単位	1,650円	―	1,100円	880円
	団体単位	165,000円	297,000円	110,000円	88,000円

教員向け 生成AIスキルアップ講座

第１章
生成AIの基礎知識

第２章
生成AI利活用の
基本的な考え方

第３章
教育現場における
生成AI利活用と留意点

第４章
生成AI利活用事例

オンライン学習

33,000円（年間）

※ 30ID分を発行、
それ以降1IDあたり1,100円追加

集合研修

60,500円（約2時間）

※ 実施場所が遠方の場合は
別途宿泊交通費が追加

★：AIツールを用いた実習を含む時間　＊利用者単位の場合は最少発行数20ID〜となります。団体単位の場合、教員向け生成AIスキルアップ講座 オンライン学習（30ID分）を無償発行します。

※ 予告なく変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

コマ数の目安：学校内で自由に実施コマ数の計画が可能です。

パート	コマ	学習内容
Unit 1	1	AIを知る
	2	AIを体験する
生成AI活用	3	生成AIを知る
	4	生成AIを体験する
Unit 2	5	AI活用企画を考える
	6	AI活用企画を発表する
Unit 3	7	識別系AIの仕組みを知る
	8	識別系AIを構築する
	9	会話系AIの仕組みを知る
	10	会話系AIを構築する
	11	予測系AIの仕組みを知る
	12	予測系AIを構築する

パート	コマ	学習内容
Unit 4	13	識別系AIの課題設定をする
	14	識別系AIの要件定義をする
	15	識別系AIのシステムを開発する
	16	識別系AIのシステムを評価する
	17	会話系AIの課題設定をする
	18	会話系AIの要件定義をする
	19	会話系AIのシステムを開発する
	20	会話系AIのシステムを評価する
	21	予測系AIの課題設定をする
	22	予測系AIの要件定義をする
	23	予測系AIのシステムを開発する
	24	予測系AIのシステムを評価する

＋

全情コン
全国情報教育コンテスト

全情コンなど探究プロジェクト成果発表コンテスト
に向けた取り組み

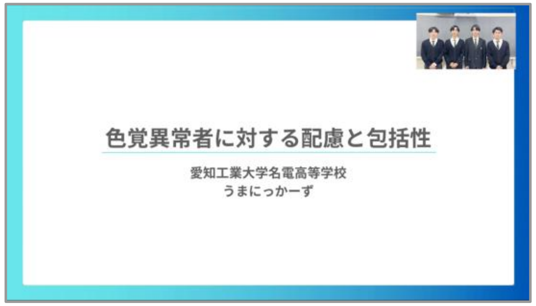
※ 予告なく変更になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

探究プロジェクト発表事例

AIチャレンジの学びを活かした、AI活用の情報システムで社会課題の解決に取り組んだ探究発表事例

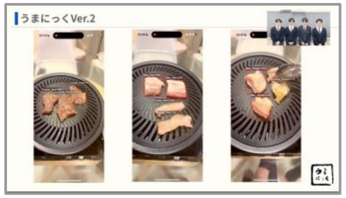
R6 最優秀賞 うまにっく

AI × 障がい者支援



愛知工業大学
名電高等学校
うまにっかーず

発表動画



色覚異常を持つ人のために肉の焼き具合を判断する。料理初心者など多様なユーザー層へのアプローチを提案し、アプリの市場性を高める視点を提供。

フィードバック有識者
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構
副理事長 伊賀 公一 様

優秀賞 Mr.なる

AI × 高齢者対策

愛知県立
犬山総合高等学校
らいとにんぐ
どらごんず

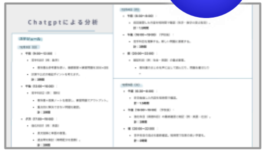
発表動画

認知症予防のためジェスチャーで計算クイズを楽しむ。認知症予防アプリの有用性を評価しつつ、改善点を建設的に提案する。

フィードバック有識者
東京都健康長寿医療センター 副院長
兼 日本認知症学会 理事 岩田 淳 様

特別賞 学びの羅針盤 ～Academic Compass～

AI × 教育



桜美林高等学校
餅ベーコンズ

発表動画

Studyplusと連携し個別最適な学習スケジュールを生成する。継続的な学習サポートへの期待を示している。

フィードバック有識者
スタディプラス株式会社
ディレクター 大藤 力也 様

入賞 House Solver

AI × 家庭内事故防止

愛知工業大学
名電高等学校
ソルバー

発表動画

家庭内の子供の事故防止のため危険物の指摘と予防策を提案。家庭内での一時的な使用に留まらず、ホテルなどでの活用可能性も。

フィードバック有識者
NPO法人Safe Kids Japan
理事 大野 美喜子 様

入賞 交通標識識別おしらせAI

AI × 交通安全

鹿児島市立
鹿児島商業高等学校
KASHO AIチーム

発表動画

道路標識の見落とし防止のため識別して音声でお知らせする。AI活用による交通標識認識と警告システムの重要性を提案する。

フィードバック有識者
カスタマークラウド、他複数法人
団体代表 木下 寛士 様

※STREAMチャレンジにて表彰を行ったプロジェクトです。

DXハイスクールをはじめとする多くの学校・団体でご利用いただいております。

都道府県別導入数							
北海道	4	神奈川県	7	三重県	2	山口県	1
岩手県	3	新潟県	3	滋賀県	1	徳島県	1
宮城県	2	富山県	3	京都府	3	香川県	21
秋田県	1	石川県	1	大阪府	10	愛媛県	2
福島県	2	福井県	2	兵庫県	6	福岡県	8
茨城県	28	山梨県	1	奈良県	3	長崎県	7
栃木県	1	長野県	5	和歌山県	2	宮崎県	6
埼玉県	3	岐阜県	7	島根県	5	鹿児島県	5
千葉県	20	静岡県	4	岡山県	1	沖縄県	3
東京都	29	愛知県	22	広島県	2		

※ 2025年11月時点。これまで教材・講座・研修を利用いただいた学校・団体の数。

ご興味がありましたら、以下からお問い合わせください。

企業名	ソフトバンク株式会社
メール	grp-aichallenge@g.softbank.co.jp
ホームページ	https://www.softbank.jp/corp/sustainability/special/ai-challenge/
お問い合わせフォーム 資料請求・教材体験版申込・説明会予約	https://forms.gle/hb4KRAPdeCeXhJPV9

AIチャレンジ活用報告はFacebookの
SoftBank社会貢献活動ページで
随時公開しています

https://www.facebook.com/charitywhite.csr